

農業技術センターニュース

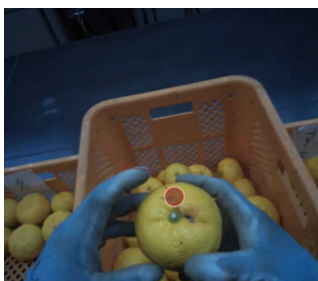
目 次			
ユズにおける熟練者の技術の見える化	… 1	施設ショウガに 新たに発生した褐色しみ症(仮称)	… 4
ミョウガに発生したナミハダニ(黄緑型) に対する殺虫剤の効果	… 2	キュウリの早進化栽培における誘引枝の更新が 生育、収量、作業性に及ぼす影響	… 5
ダリア ‘かまくら’ における 露心花の発生軽減対策	… 3	冬でもボリュームある果実になりました ～ハイワイヤー栽培用「ナス高育交 15 号」～	… 6



ユズにおける熟練者の技術の見える化



メガネ型のアイトラッキング
機器で視点を取得。



機器で取得した映像。
赤い丸が視点を表す。

図 1 動画撮影の様子(上)と作業者の視点(下)

ユズはせん定・選果等の管理作業に熟練の技術が必要であることが、新規参入を阻害する一因となっています。これらを解決するために、果樹試験場では、熟練者の技術の見える化と学習支援コンテンツの作成に取り組んでいます。

ユズの収穫、選果、せん定作業における熟練者と非熟練者の行動や視点の動き、作業結果を動画やアイトラッキング等で調査、比較しました(図 1)。収穫・選果では作業の要点を抽出して、習得度を被験者ごとに評価、せん定ではせん定前後の樹体状況を比較して、支援が必要な技術の要点を明らかにしました(図 2)。



一見での判断

図 2 選果作業の習得度評価



図 3
学習支援コンテンツ
(収穫動画)

そして、この作業の要点を新規参入者へ伝承する手段として、農閑期でも技術習得ができる学習支援コンテンツを作成しました。コンテンツの内容は、問題を解くことで、擬似的に選果等の作業が体験できる「クイズ形式問題」や解説付きで作業の要点を学ぶことのできる「動画」があり、学習の有無が作業の精度や速度に与える影響を調査中です。

本研究は、内閣府地方大学・地域産業創生交付金「IoP (Internet of Plants)」が導く「Next 次世代型施設園芸農業」への進化の助成を受けたものです。

(果樹試験場 北沢知明 088-844-1120)